

大使挨拶（2022年4月）



当館ホームページに來訪いただき有り難うございます。

サラエボでは木々の緑が目立つようになりましたが、朝晩の冷え込みは続いています。

当地の新型コロナウイルス感染状況は少しずつ改善の方向に向かっており、各種制限措置についても解除されてきていますが、まだ暫くは十分な注意が必要な状況と思われます。

当館としましても、当館業務に支障が生ずることのないよう、引き続き万全の対策を講じて参ります。

ボスニア・ヘルツェゴビナ国内では、上記の制限措置の緩和を受け、段階的に対面式のセミナー、大学の授業、文化事業等が実施され始めています。

当館でもこれまで経済協力事業・草の根無償資金協力新規案件4件の署名式を実施したほか、すでに事業が完了している案件の供与式を、供与先機関を訪問の上、実施しました。

実施にあたっては、私自身、幾つかの地方都市を訪問し、自治体関係者の方々や経済界の代表の皆様、そして日本に関心をもたれている方々との意見交換や交流を行いました。

またサラエボではサラエボ大学をはじめとする教育関係機関を訪問した際に、今後の日本語教育の拡充や日本研究事業への高い関心が寄せられ、更なる学術交流の必要性を実感いたしました。広報文化事業は、新型コロナ収束後、特に力を入れていきたいと考えています。

現下の国際情勢に加え、我が国を取り巻く環境も厳しいものがあり、今後の情勢は全く予断を許しません。我が国としては、民主主義、法の支配、言論の自由、人権といった基本的価値観を共有する国々との関係協力を柱として、平和外交をさらに進めていく所存であります。

上記考えに則り、我が国政府としては当国における領土の一体性を尊重し、現下の諸改革努力を引き続き支援していくとともに、経済社会開発のための様々な協力を継続・強化していきたいと考えております。

皆様の御理解・御協力を宜しくお願いいたします。

2022年4月1日

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使

伊藤 眞